



現役力士を前に興奮 幼稚園に十両力士 佐田の海関訪問



11月30日、十両力士として活躍中の佐田の海関（23歳）が阿蘇中央幼稚園を訪問しました。佐田の海関は二代目力士。30数年前に活躍した初代「佐田の海」（一の宮町生まれ）の息子さんです。父親の初代「佐田の海」も阿蘇がふる里ということで、阿蘇中央幼稚園を数回訪ねており、今回の訪問は、佐田の海関の叔父、松村卓郎氏の協力で実現しました。

園児たちは、九州場所を勝ち越した佐田の海関を、首飾りをかけ歓迎し交流を楽しみました。

児童がバレエ「白鳥の湖」を鑑賞



文化庁の「子どものための優れた舞台芸術体験事業」として、国内外で活躍中の「谷桃子バレエ団」による公演が、12月1日、宮地小学校で行われました。体育館には本格的な舞台セットが設けられ、照明に輝きながら、主役のオデットや王子、白鳥たちが登場すると児童たちはその美しさに息をのみ、総勢60人の出演者と舞台スタッフが次々と展開する豪華で夢のような演出をじっくりと堪能しました。



また、児童数名が素敵な舞台衣装を着て（写真）本番に登場する場面もあり貴重な体験となりました。

親子で阿蘇市の歴史探訪！



手野の大杉で有名な国造神社

「阿蘇の古きを知ろう」と、公民館役犬原分館主催の歴史探訪が12月12日あり、役犬原子ども会の皆さんが参加しました。昨年の二重の峠（参勤交代道）に続き、今回は「中通古墳群」「国造神社」「上御倉古墳」などを探訪。歴史に詳しい文化財保護委員の渡邊照義さんの説明を受けながら、何世代も受け継がれた遺産に触れ、重みのある歴史に、改めて阿蘇の魅力を知る機会となりました。

福が一杯の幸せな年になりますように 年賀はがき投函セシモニー



年賀はがき投函開始に併せ、一の宮郵便局で12月15日、年賀はがき投函セシモニーが開催されました。セシモニーでは、笑いヨガ教室講師の森里枝子氏による講話が行われ、局内が笑いに包まれました。

また、「福が一杯の幸せな年になりますように」と書かれた拡大寄せ書き年賀が局内に設置され、参加者が思い思いの願いを込めて記帳しました。